

EU Indicators

発表日: 2019年4月24日(水)

欧州経済指標コメント: 4月ドイツIfo企業景況感

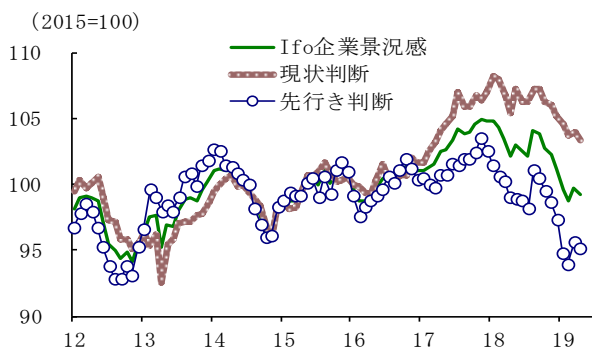
～製造業にまだ春は訪れず～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

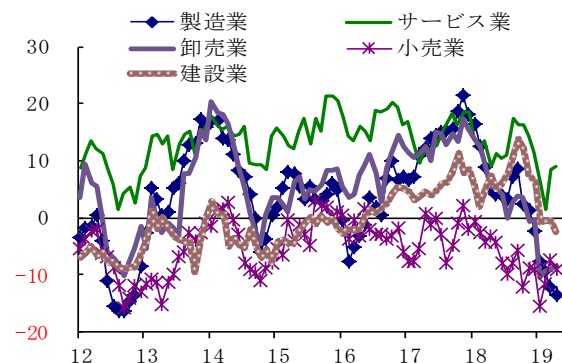
- 前月に7ヶ月振りに改善したドイツIfo企業景況感(2015年=100の指数)は4月に再び低下。中国の経済指標の持ち直しを受け、世界的な景気底入れへの期待が広がっているが、ドイツ景気の底入れは未だ確認できず。内訳は、現状判断、先行き判断が揃って低下。低下後の先行き判断は1・2月の水準を上回っているものの、現状判断は昨年3月以来の水準に落ち込んでいる。
- 業種別の業況判断(ゼロが分岐点)は、卸売業が小幅改善したが、製造業、建設業、小売業、サービス業が揃って低下。現況判断は建設業を除いて悪化、先行き判断は卸売業とサービス業を除いて悪化した。注目の製造業は、現況判断のプラス幅が縮小、先行き判断のマイナス幅が拡大と揃って不振。両者を合成した製造業の業況判断は、2012年12月以来の低水準。18日に発表された4月のPMI速報値でドイツ製造業のモメンタム悪化に歯止めが掛かり、業況底入れへの期待も膨らんだが、今回のIfoではそうした動きは確認できなかった。中国景気の底入れ期待が広がる一方で、米欧間の通商協議を巡る不透明感や新たな自動車排ガス不正問題の発覚などが業況の重石となっている模様。他方、サービス業の業況判断は、現況判断が前月対比で小幅鈍化したものの高水準を維持、先行き判断が今年2月を底に2ヶ月連続で改善モメンタムが加速している。内需部門の堅調が続いている間に外需部門の底入れ確認が待たれる状況。

■ドイツ: Ifo企業景況感



出所: Ifo

■ドイツ: 業種別の先行きの業況判断



出所: Ifo

■ドイツIfo企業景況感

	2018				2019											
	2Q	3Q	4Q	1Q	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
企業景況感(総合)	102.5	103.4	102.1	99.3	102.5	102.2	104.1	103.8	102.8	102.3	101.2	99.6	98.7	99.7	99.2	
現状指数	106.3	106.9	105.8	104.1	106.3	106.3	107.2	107.2	106.3	106.0	105.2	104.6	103.7	103.9	103.3	
先行き指数	98.9	99.9	98.5	94.8	98.8	98.2	101.1	100.5	99.5	98.7	97.3	94.8	94.0	95.6	95.2	
業況判断	24.2	26.0	23.2	17.1	24.0	23.4	27.6	27.0	24.8	23.6	21.2	17.7	15.8	17.9	16.9	
製造業	24.8	23.6	17.3	9.1	24.2	23.0	24.2	23.7	19.0	17.8	15.1	11.4	9.2	6.7	4.0	
サービス業	27.2	31.5	30.2	24.2	27.4	27.9	33.1	33.4	31.8	31.4	27.4	24.9	21.5	26.1	26.3	
卸売業	17.0	16.4	14.7	8.4	17.6	15.5	16.9	16.8	15.9	14.0	14.2	9.0	6.9	9.4	9.5	
小売業	4.6	2.9	1.8	2.1	2.3	1.9	1.4	5.3	0.7	2.5	2.2	-1.3	0.9	6.6	3.7	
建設業	20.1	29.6	30.2	19.4	19.9	27.6	29.5	31.7	32.4	29.2	28.9	19.9	18.0	20.4	21.4	

出所: Ifo

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

